

## 2020 年年頭にあたって

2020 年を迎えるにあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、改元や消費税増税及び関税の引き下げ、相次ぐ自然災害など日本経済に影響を及ぼす環境変化の激しい 1 年となりました。その中で当社は中期経営計画で掲げた「ビール強化」を一貫した戦略として取り組んできました。

ビール強化の軸である「サッポロ生ビール黒ラベル」は、継続したキーメッセージやブランド体験が奏功し、缶商品が 5 年連続で前年超えとなる見込みである他、「サッポロクラシック」や「サッポロラガービール」でも継続的な伸長を果たせております。

ワインでは、ファインワイン「テタンジェ」「ペンフォールズ」が順調に成長しております。また、更なる成長が見込まれている日本ワインを多くのお客様にお届けするために「グランポレール北海道北斗ヴィンヤード」を 2019 年 5 月に開園し、良質な原料ぶどうの確保を目指します。

RTD では「99.99（フォーナイン）」が一昨年からの好調を継続し、RTS 新商品である「濃いめのレモンサワーの素」では計画比約 180% 超えを見込んでおります。

輸出事業では、昨年黒字化を果たしたベトナムで継続した露出展開強化を行い、輸出を始動した中国をはじめ、アジア諸国や EU においても SAPPORO ブランドを拡げてまいります。

2020 年は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催、改正酒税法施行など大きな転換点が想定されつつ、こだわりのあるものには支出を惜しまないプレミアムな消費と、合理的に賢く消費するリーズナブルな消費を使い分けるという消費行動の変化が、より進展していくものと思われまふ。当社は「お酒と人との未来を創る酒類ブランドカンパニー」を目指し、圧倒的な「プレミアム価値」と「リーズナブル価値」の追求により、存在感を発揮していきます。また、一部製品の賞味期限延長や旬表示から製造年月表示への変更をはじめ、サステナビリティ経営をより一層強化して取り組んでまいります。

私たちは、創業以来 140 年以上にわたる原料育種からおいしさにこだわった「モノ造り」で培ったブランド資産をさらに磨き上げ、将来に向けた新しい資産を着実に創出し、これからもより一層お客様の楽しく豊かな生活に貢献していく所存です。サッポロビールに引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

2020年1月吉日

サッポロビール株式会社  
代表取締役社長 高島 英也